

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月08日

計画の名称	野田市における浸水対策公共下水道の推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	野田市												
計画の目標	浸水地区の解消を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、水環境や生活環境を改善する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	350	A	350	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を 418.7ha 10.0% (H27) から 425.9ha 10.2% (H31) に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	10%	11%	11%
2	阿部沼第1排水区における調整池の取得率 0.0ha 0.0% (H30) から 2.26ha 100% (H31) に増加させる。 調整池の取得率 調整池の取得済み面積 (ha) / 調整池の取得すべき面積 (ha)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠(雨水)	新設	阿部沼1号幹線等整備(浸水対策)	設計一式	野田市						230	-	
	A07-002	下水道	一般	野田市	直接	野田市	管渠(雨水)	新設	南部1号幹線整備(浸水対策)	L = 0.03km 2100 × 2100 ~ 3700 × 2960mm	野田市						120	-	
												小計						350	
												合計							350

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
庁内の公共下水道事業担当部署により、実施状況・指標の達成状況の確認および評価を行う。	事業終了後
	公表の方法 野田市ホームページにて掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・都市浸水達成率が、418.7ha（10%）から425.9ha（10.2%）へ増進することで、市内の浸水箇所が減少した。 ・阿部沼第1排水区の浸水対策の用地取得を完成することにより、このエリアの浸水対策へ大きく前進することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、計画的に市内の浸水対策を行い、安全・安心なまちづくりを進めていく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水を 418.7ha（10%）（H27）から 425.9ha（10.2%）（H31）に増進させる。	
	最終目標値	11%
	最終実績値	11%
2	阿部沼第1排水区における調整池の用地取得率 0.0ha（0.0%）（H30）から2.26ha（100.0%）（H31）に増進させる。	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%